



駒澤会だより

第11号

(2008年12月31日)

駒澤大学駒澤会発行

駒澤大学 キャッチコピー

「未来に繋がる自分へ繋げる」

251件の応募の中から、政治学科在校生の作品に決定。駒澤大学の伝統を受け継ぎながら、明るい未来、成長、今後さらに目指していこうとする方向性をあらわしています。

駒澤会維持会員の中には、いろいろな活動をされている方がいます。今回は、広報部委員の中からご紹介いたします。

ネパールの子供たちにも夢を！

～ 学校建設という支援と平和への願いを込めて ～



今年の春3月、お彼岸が過ぎて1週間、‘仏教のふるさと’ネパールを駆け足で訪問してきました。ネパールの学校を訪問するたびに、いつも感動させられるのは、子どもたちの純粋で、素直な、きらきらとまるでダイヤモンドのように輝くひとみの美しさです。初対面の人にも、手を合わせ、「ナマステ」「ナマステ」と人懐っこくあいさつを交わすネパール特有のコミュニケーションに魅かれて、「彼らのために何かお手伝い（教育支援）をしたい」という気持ちに駆られるのです。そんなわけで、今回は5度目の訪問となりました。

‘ネパール’と聞いて何を思い出すでしょうか？世界最高峰のサガルマータ（エベレスト）を頂き、大国インドと中国に挟まれた小さな国、ヒマラヤ山脈の麓にひっそりと佇む小さな村々、そして何よりもお釈迦様誕生の聖地ルンビニを擁する国でもあります。

ところが、ネパールは世界で最も貧しい国の一つとされ、「学校」とは無縁の子どもたちが今なお多数を占めている開発途上の国としても知られています。縁あって、わたしは「ネパールの子どもたちに学校をプレゼントする会」（アイウエオ・サークル）のボランティア活動に参加させていただいております。



今回の公式視察には二つの目的がありました。一つは、カトマンズ市郊外の就学率が極度に低い人々の居住地に、日本の援助で完成した初等・中等学校（ビムセンゴラ校）を視察し、開校式に出席すること、そしてもう一つは、家が貧しくて学校に行けない子どもたちに奨学金（一人当たり年間3万円）を贈っていますが、奨学金を受けている子どもたちが期待に応じて真面目に勉強しているかどうかを、3校の奨学生や教職員と面接し確かめ、その様子を日本のスポンサーの皆様に報告することでした。

日本の心ある人々の貴重な浄財で完成した学校は、今、いずれも現地住民の手で運営され、しっかりと地元で根付いていること、そして確実に就学率が改善されていることを確かめてまいりました。



‘言葉や文化、人種・民族、国籍の違いを超えて、人間としてお互いに認め合い、敬い合い、そして差別や偏見のない平和な社会を実現したい’それが私たちNPOの願いであります。

※ アイウエオ・サークルについて詳しくは、

URL <http://www6.ocn.ne.jp/~aiueo/frame6.html> をご覧下さい。

駒澤会広報部 菊地英昭（興全寺住職）

駒澤会基金運用状況のお知らせ（基金管理委員会）

運用先	7月～11月までの利金	備考
日興コーディアル証券	72,000円	104回放送債
	76,000円	105回放送債
三菱UFJ証券	482,360円	グロソブ（毎月決算型）
計	630,360円	

教育後援会との懇親会 報告

平成20年7月26日(土) ロイヤルパークホテル(水天宮)にて、出席者総数=21名
(吉津宜英学生部長、砂金晃教育後援会会長、佐藤均副会長、千葉宏隆副会長、利根川貴司部長出席)

今回は、駒澤会からは役員及び各部の皆さんに出席頂きまして、美味しい料理を召し上がっていたきながら、教育後援会の皆様と歓談しました。自己紹介等を交えながら、和やかで楽しいひと時を過ごしていただけたと思います。このような有意義な交流の時間を持つ事が出来まして、会員の皆様のご協力に対し、改めて御礼申し上げます。

教育後援会と駒澤会は常に連携を密にして、これからも協力しあうことが大切であると考えています。このような厳しい不安定な時代だからこそ、教育後援会の皆様に一人でも多くの入会をお願いし、活発な意見や要望をお出しいただき、駒澤会を支えていく力になっていただきたいと思います。我々の思いが教育後援会の皆様に伝わるよう、これからも努力してまいります。駒澤会は、多くの人生の先輩方に支えられ、築き上げられた会です。会員一同心を一つにしてまいります。皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

副会長 赤堀 菊 絵



～ ボクシング部 清水君（フェザー級）北京オリンピック結果報告 ～
(大学ホームページ掲載文より抜粋)

無事に競技を終え中国から帰ってまいりました。

結果には、決して満足していませんが、オリンピックという夢の舞台で世界選手権の銅メダリストの選手を相手に、日本代表として恥ずかしくない試合ができてとても幸せです。

本当にたくさんの応援ありがとうございました。

これからも競技を続けていこうと思っておりますので、今後ともどうか応援の程宜しくお願いします。

2回戦 ヤクブ キリク・トルコ にポイント負け、ヤクブ選手は今大会銅メダル獲得

駒澤会奨学金受給生の言葉

本年度駒澤会奨学金の受給生となった25名の中から、2名の学生の「言葉」を紹介します。



英米文学科 浅野一平

この度は、駒澤会奨学生に選んで頂き大変名誉に感じております。

英米文学科に属する私は、文学だけでなくコミュニケーションにも重点を置いているため、日頃から英会話教室に通い、長期休暇にはその会話力を活かし、海外の親戚を訪ねたり、ボランティア活動にも参加してきました。しかしその一方で、学生生活の中で月々の英会話授業料を払いながら、海外遠征の費用を貯金するには時間的、体力的にかなりの無理があり、時にはどうしても両親に頼らなければならないこともありました。この夏季休暇にドイツでのボランティア活動を予定していた私は、また負担をかけてしまうのかと不安をつのらせていましたが、そんな時、学内の掲示板を見てこちらの奨学金制度を知りました。実際に可否通知を開くまで、自分でも本当に採用されるなんて思っていなかったのですが、夏季休業に入ると同時に毎日のようにアルバイトをして疲れきっていました。しかし、大変ありがたいことに奨学生として採用して頂き、大きな驚きと共に、これで家計に負担をかけずにすむと思っホッとしました。お蔭様で、ドイツでは何の心配事もなく、世界中から集まった他のボランティアの方達と共に非常に価値のある体験をすることができました。

私のように、海外留学やボランティアなど、学生にとっては多額の資金を必要とする更なる勉強の機会を求める学生にとって、こうした奨学金制度は非常に有意義でありありがたいものです。私はその数少ない奨学生に選ばれた者として恥じぬよう、これからも勉学に励んでいきたいと思います。本当に有難うございました。



心理学科 畑中優実

この度は、駒澤会の奨学生として選んで頂き、ありがとうございました。大変光栄に感じております。

私は今、小学生と接するアルバイトを始めて2年を迎えようとしております。共働きの家庭が多く、両親と接する時間が少なくなってしまう現代で、大事なお子様を預かる仕事は、責任のある仕事であると感じ、心を尽くして働いております。そして、将来の夢として、児童の心理に関わる仕事に興味をもっている私にとって、このようなアルバイトをしているのは、大変貴重であり、とても大切な経験であると日頃から感じております。しかしながら、小学生と関わるという職種上、アルバイトの勤務時間は限られ、そのために、周りの友人と比べると、頂いているお給料が少ないのも事実です。朝早くから、また夜遅くまで長時間働き、お金に余裕のある友人の生活を見て、羨ましく思うことも度々ありました。しかし、だからと言って、今やっているアルバイトの他に何かを始めるほど時間に余裕はありませんし、大好きな今のアルバイトを辞めるつもりもありません。そこで私は、「アルバイトに縛られていない分、自分のペースを維持して、勉学が疎かにならないようにしよう」と心掛けて大学生活を送っていました。そのため、駒澤会の奨学生として選ばれたという知らせを頂き、自分の選んだ大学生活は間違っていなかったと思えたのは、とても嬉しく、光栄に思いました。

心理学を学んでいるせいも、アルバイト中も、無邪気に遊ぶ児童の心の中や、その背景にある友人関係や家族環境が気になることが多いのですが、その度に、勉強不足の自分を悔しく思います。将来のためにも大学院受験を考えているので、頂いた奨学金は、受験のために使わせて頂こうと思っております。

今後も、次の勉学への意欲に繋がる結果を繰り返し得られるよう、駒澤会奨学生に選ばれた感謝を忘れずに、有意義な生活を送りたいと思っています。

奈良前駒澤会名誉会長叙勲のお祝い、駒澤会忘年会 報告

平成20年11月22日(土)目黒雅叙園8FサロンドⅡにて

奈良名誉教授(前駒澤会名誉会長)をお招きし、目黒雅叙園にて行われました。(出席者 31名)春の叙勲において、紫綬中褒章を受賞された奈良先生に、お祝いの記念品と花束が会から贈られました。維持会員として入会されたばかりの狂言師 善竹十郎さんからは、狂言による祝儀の言葉が披露され、一同感激いたしました。奈良先生からは受賞当日の皇居での様子が語られ、駒澤会への感謝の言葉がありました。

先生におかれましては、今後ますます研究に専念され、お元気で活躍されることを会員一同願っております。今年一年の駒澤会活動を振り返りながら、来年も充実した活動が出来ますよう、会長、役員はじめ、会員一同力をあわせ進めて参りたいと思います。



右側 善竹さん



会員紹介 <<鈴木康元さん(広報部部長)>>

「旅」

私は学生のころから登山・旅行が大好きで旅には目がありません。皆様も同様と存じます。この秋はJTB萩・津和野城下町散策と安芸の宮島歴史紀行三日間の旅に妻と行ってまいりました。初めに広島平和公園、原爆ドームへ。修学旅行生や、資料館の中には外国人観光客の姿もありました。ある壁に人が群がっているのを見上げると、この広島を焦土とした実物大の原子爆弾の模型がありました。



次は日本三景の一つ、世界遺産の安芸の宮島へ。朱塗りの大鳥居の美しい風景を眺めつつ・・・、「大鳥居 夕暮れを待つ 厳島”

二日目は同じく世界遺産の石見銀山地区へ。大森の町並みを散策、山陰の小京都、津和野の掘切り沿いに武家屋敷の名残を留める壁や家並を歩く非常に心安らぐひとときでした。

“五百羅観 壁をおしのけ 熟す柿 見る人々の 心引く軒”

津和野の駅を三時三十五分に出るSL山口号が初秋の紅葉の中、煙をはき、蒸気をいっぱい噴き上げ鉄橋を渡ってきました。津和野の山々に響く汽笛、まるでテレビのSL図鑑の中に入ったような気持ちでした。

“静けさを やぶる機関車 山口路”

三日目は青海島海上アルプスと呼ばれる絶景を小型遊覧船で満喫。リアス式海岸の岩場では釣人が各ポイントを陣取っております。

次は秋吉台へ。日本最大のカルスト台地を車窓より眺め、いよいよ東洋一の鍾乳洞秋芳洞へ。千枚皿や五百枚皿、自然に出来た古代の柱は圧巻でした。秋吉洞をあとにして、次は山口県を代表する瑠璃光寺五重の塔。この寺は日本三名塔のひとつで珍しい檜皮葺総檜造りの屋根を持つすっきりとした姿が特徴です。

“瑠璃の 泉に映る 五つ屋根”

旅の最後は岩国の錦帯橋、美しい五蓮のアーチは日本三名橋のひとつ。私は妻と一緒に五つのアーチを踏み締めるように渡りました。対岸の向こうには、資料館や屋敷、公園があり山の麓からはロープウェイが出ており、小高い山頂の城は錦帯橋を見下ろしているようでした。 “岩国の 錦帯橋 渡る人”

この原稿を書き終わった頃ラジオで駒大が全日本大学駅伝でWをかわし、三連覇とのこと。最近では学生時代の健康元気を思う昨今です。“「身心安楽」とは体と心の病気がなくなること、体と心の両方が健康であること”だと思います。

駒澤大学高校の梅檀会・会長から振り返ると、いろいろな委員を務め十余年となります。本年度から広報部長を賜わりいろいろ責任を感じている所存です。今日まで多数の方々とかかわることにより人生勉強になりました。これからも宜しく願いいたします。

～ キャンパス内の石碑について ～

秋の一泊研修会で大谷先生よりキャンパス内の石碑の話がありました。早速御紹介いたします。



献燈碑

禅研正面左側。麻布日ヶ窪の跡地から移設。志半ばで亡くなる生徒を悼むために建立。



覚仙坦山老師の碑

禅研正面右側。1894年建立。覚仙とは原坦山第3代総監のこと。漢学、朱子学、医学に精通。



門柱 1918年建立。高さ215センチ。大正15年舊洞宗大学より改名。



黙仙寮跡 碑
大学会館前。黙仙寮とは1926年大学会館前に設置された学生寮。

編集後記

私も駒澤会に入会し、三年目に入ります。我が子が卒業した駒澤大学の発展を願って入会しました。そして、維持会員となり、箱根駅伝の応援、新年賀詞交歓会参加、オリンピック壮行会、駒大教育後援会とのパーティー、一泊研修会、11月のホームカミングデーのマギー司郎さんのマジックショー見学と、まるで、現役生の様にスケジュール一杯に頑張っています。一泊研修において、大谷総長の講演で私達の知らない良寛像の話を聞き大変勉強になりました。また、大谷総長原作の映画「禅」も楽しみにしています。

世界的にはアメリカ初の黒人大統領オバマ氏誕生、世界経済の動向が注目される時代、厳しい社会情勢の折、駒澤会の我々が歴史と伝統ある駒澤大学の発展を願い応援して行きたいと思っています。皆様の一層のご協力をお願いします。

広報部副部長 荒井喜久子

事務局報告・お願い

● 維持会費納入のお願い

本年度分維持会費(5,000円)未納の方は至急振込みをお願いいたします。振込み用紙の再発行をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

03-3418-9189 (FAX 9190)

● 「新年賀詞交歓会」のお知らせ

平成21年1月10日(土)ホテルニューオータニにて開催、詳細は別途ご案内を維持会員の皆様へお送りします。

● 陸上競技部

10月13日(月・祝)出雲全日本大学選抜駅伝競走 2位

11月2日(日)第40回全日本大学駅伝対校選手権大会 優勝(3年連続8度目)

1月2日・3日に行なわれます第85回東京箱根間往復大学駅伝競走でもご声援を宜しくお願いいたします。

● 吹奏楽部

10月25日(土)大阪国際会議場で開催された第56回全日本吹奏楽コンクール大学の部で金賞受賞。

訃報

10月2日 田中泰明教育振興部部長実母逝去

10月7日 維持会員厚生部 鈴木友美様 逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

駒澤会だより 第11号

発行日:平成20年12月31日

発行者:駒澤大学駒澤会広報部

154-8525 世田谷区駒沢1-23-1

TEL 03-3418-9189 FAX 03-3418-9190

皆様 良い年をお迎え下さい



広報部一同